

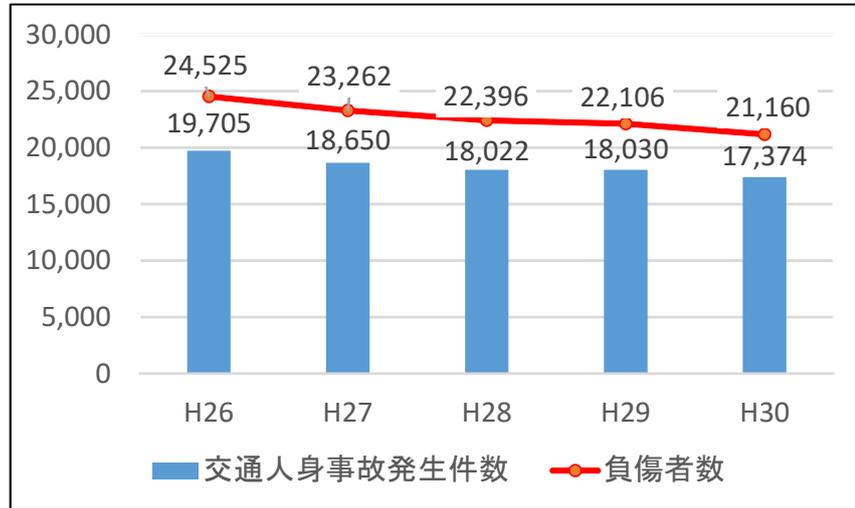
平成30年政策評価書

千葉県警察重点目標	安全で安心できる県民生活の確保
施 策	交通安全意識の高揚による交通事故防止対策の推進
施 策 目 標	交通事故の総量抑止
施策設定の背景	<p>平成29年における交通人身事故の発生状況は、平成28年と比べて死者数及び負傷者数は減少していますが、発生件数はほぼ横ばいで推移しており、依然として厳しい交通情勢にあります。</p> <p>「交通安全県ちば」の実現のため、県民一人一人に交通安全を自身の問題としてとらえ、行動していただけるよう、交通安全意識の高揚を図るための各種対策を推進し、1件でも多く交通事故を減少させる必要があります。</p>
実 施 項 目 1	交通事故分析結果に基づく効果的な交通事故防止対策の推進
推 進 結 果 1	<p>1 交通事故の総量抑止を目的に、高齢者宅等を訪問する機会の多い生命保険会社等の民間企業と「地域安全見守りネットワークちばに関する協定」を締結するなど、運転免許自主返納制度等の交通事故防止に資する情報を積極的に発信する取組を展開しました。</p> <p>2 歩行中死傷者に占める横断歩道横断中死傷者の割合が高いという実態を踏まえ、横断歩道上での安全確保を目的とする、歩行者保護「ゼブラ・ストップ作戦」を強力に推進しました。具体的には、横断歩道標示の補修、各種交通安全教育を通じた横断歩道のルール・マナーに関する指導、横断歩行者等妨害等に対する指導取締りを強化するとともに、県警ホームページを始めとする各種広報媒体を通じて広報啓発活動を行いました。</p> <p>3 事故の発生が多くなる時期や時間帯を重点に置いた、制服警察官による街頭監視、パトカーや白バイによる街頭活動などの啓発活動を推進し、県民の交通安全意識の高揚に努めました。</p>
実 施 項 目 2	交通安全施設の整備と交通実態に即した交通規制の推進
推 進 結 果 2	<p>1 県下の全ての横断歩道を対象に、摩耗実態の点検を実施し、著しく摩耗して見えづらい横断歩道を始め、通学路等で子供や高齢者の安全確保が必要な横断歩道、繁華街等で歩行者が多い横断歩道を最優先に補修を行いました。</p> <p>2 重大な交通事故が発生した交差点等について、地域住民や道路管理者等と連携して一時停止規制の整備や通行禁止等の交通規制を実施しました。</p> <p>3 生活道路や通学路の交通安全対策として、道路管理者等と連携してゾーン30の整備を推進しました。</p>
実 績 ( 成 果 )	<p>○ 交通事故発生状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発生件数 17,374件 (前年比-656件)</li> <li>・死者数 186人 (前年比+32人)</li> <li>・負傷者数 21,160件 (前年比-946件)</li> </ul>

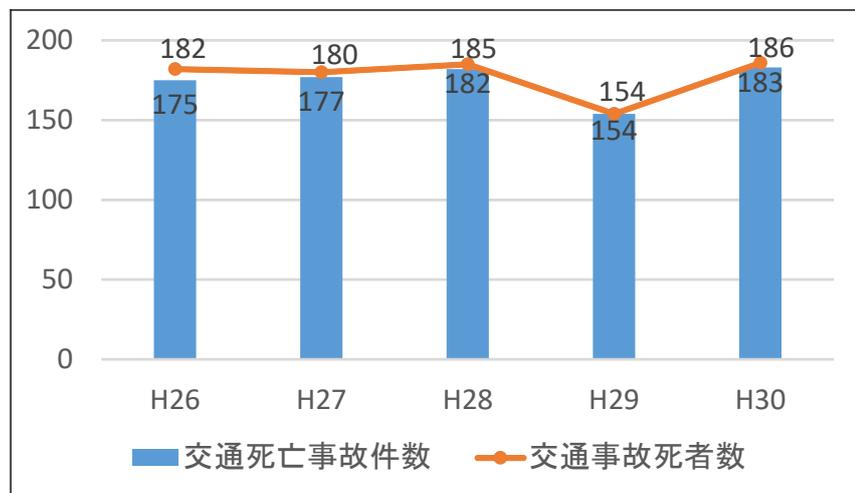
- 横断歩道補修  
平成30年度中は、補正予算により補修費の増額が認められ、横断歩道の補修が大幅に進みました。
- ゾーン30実施数  
平成30年度は、7市2町の19箇所について実施を決定しており、平成30年12月末現在4箇所で開催を開始しました。

実績（成果）指標

【交通人身事故発生件数、負傷者数の推移】



【交通死亡事故発生件数、交通事故死者数の推移】



【ゾーン30実施数(年度事業)】

平成30年度は19箇所（計190箇所）を予定

整備計画進捗状況							
年度	24	25	26	27	28	29	計
整備予定数	8	34	34	55	35	29	-
整備数	8	20	24	55	35	29	171

参 考 指 標

- 平成30年中における全国の交通人身事故発生件数、死者数及び負傷者数  
発生件数 430,601件（前年比 -41,564件）

	死者数 3, 532人 (前年比-162人) 負傷者数 525, 846人 (前年比 -55, 004人)																																																																																															
効 果	<p>1 総合的な交通事故防止対策を推進した結果、平成30年中は、死者数が前年と比べてプラス32人と大幅に増加したものの、発生件数は656件、負傷者数は946人減少したほか、状態別で見ると歩行中死者は前年と比較して減少し、県民一人一人の交通安全意識の高揚に向けた、歩行者保護「ゼブラ・ストップ作戦」などの各種対策に一定の効果が認められました。</p> <p>2 ゾーン30内の交通人身事故発生状況の比較</p> <p>県内142箇所における、整備前年度と整備翌年度の人身事故発生件数を比較したところ、全体で約2割減少しました。</p> <p style="text-align: center;">ゾーン30の整備前後における交通事故発生件数の比較</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="14">交通事故発生件数</th> </tr> <tr> <th rowspan="3"></th> <th rowspan="3">全事故</th> <th colspan="2">死亡</th> <th colspan="2">重傷</th> <th colspan="2">軽傷</th> <th colspan="6">うち対歩行者・自転車事故</th> </tr> <tr> <th>前年度</th> <th>翌年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>発生件数</td> <td>143</td> <td>112</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>16</td> <td>13</td> <td>126</td> <td>99</td> <td>78</td> <td>73</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>68</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>-31件</td> <td></td> <td>-1件</td> <td></td> <td>-3件</td> <td></td> <td>-27件</td> <td></td> <td>-5件</td> <td></td> <td>-1件</td> <td></td> <td>±0件</td> <td></td> <td>-7件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>増減率</td> <td>-21.7%</td> <td></td> <td>-100%</td> <td></td> <td>-18.8%</td> <td></td> <td>-21.4%</td> <td></td> <td>-6.4%</td> <td></td> <td>-100%</td> <td></td> <td>-0%</td> <td></td> <td>-10.3%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			交通事故発生件数															全事故	死亡		重傷		軽傷		うち対歩行者・自転車事故						前年度	翌年度	発生件数	143	112	1	0	16	13	126	99	78	73	1	0	12	12	68	61	増減	-31件		-1件		-3件		-27件		-5件		-1件		±0件		-7件		増減率	-21.7%		-100%		-18.8%		-21.4%		-6.4%		-100%		-0%		-10.3%													
		交通事故発生件数																																																																																														
	全事故	死亡		重傷		軽傷		うち対歩行者・自転車事故																																																																																								
		前年度	翌年度	前年度	翌年度	前年度	翌年度	前年度	翌年度	前年度	翌年度	前年度	翌年度	前年度	翌年度																																																																																	
		発生件数	143	112	1	0	16	13	126	99	78	73	1	0	12	12	68	61																																																																														
増減	-31件		-1件		-3件		-27件		-5件		-1件		±0件		-7件																																																																																	
増減率	-21.7%		-100%		-18.8%		-21.4%		-6.4%		-100%		-0%		-10.3%																																																																																	
今 後 の 課 題 及 び 方 針	<p>1 平成30年中は、発生件数、負傷者数を減少させることができた一方で、交通事故死者数が大幅に増加したほか、交通死亡事故等の重大事故に直結する飲酒運転の根絶に至っていないことから、交通事故発生実態の分析を一層推進し、効果的な交通安全対策を講じるとともに、飲酒運転に対する指導取締りを強化するなど、関係機関・団体等との連携による飲酒運転根絶に向けた気運の醸成に取り組む必要があります。</p> <p>2 ゾーン30は、生活道路の安全確保に効果が期待できることから、引き続き、道路管理者等の関係機関と連携し、新規整備を検討していくとともに、整備済みの箇所についても道路管理者等と連携し、物理的デバイスの更なる整備等により、対策効果の充実に努めていきます。</p>																																																																																															
施 策 主 管 課 政 策 評 価 担 当 課	交通部交通総務課及び交通部交通規制課 交通部交通総務課																																																																																															